科目ナンバリング	U-LAS20 10001 SB48						
授業科目名<英訳>	英語リーディング ER25 1E6 English Reading			担当者所属職名・氏名	非常勤講師 喜多野　裕子		
群	外国語科目群	分野(分類)		使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	金1	配当学年	１回生	対象学生	全学向

[技能領域]

アカデミックリーディング

[授業の概要・目的]

Reginald Rose作Twelve Angry Men（『十二人の怒れる男』）を講読する。この戯曲は、父親殺害の被疑者である少年をめぐる12人の陪審員によるディスカッション・ドラマであり、映画も高く評価されている。有罪を主張する圧倒的多数派に対し，議論の必要性を主張する陪審員はたった一人。その唯一の主張が徐々に審議に影響を与えてゆく。原動力となるのは，冷静さや粘り強さだけではなく、西洋文化に深く根ざしているlogicとrhetoricの力である。個性的なキャラクターたちの複雑な心理描写や，緊密な構造の中で繰り広げられる言葉の応酬を分析する。

[到達目標]

社会に潜む諸問題に関する知識を深め意見を構築し、英語で表現する。
各シーンのポイントをさまざまな視点から英語で要約できるようになる。
説得力のある議論の立て方や進め方を習得する。
この作品に関する批評を適宜読み、その論に平易な英語で考察する。
適宜プレゼンテーションを行い英語のリズムやセリフの間合いを把握し表現力を養う。

[授業計画と内容]

第１回 イントロダクション。作品についての基本的な説明と授業の進め方，および評価方法の説明。
第２回 Act 1 登場人物紹介 開始：第1回審議－有罪11票対無罪１票
第３回 議論 1
第４回 議論 2
第５回 第2回審議ー１０対２
第６回 議論 3
第７回 第3回審議ー９対３
第８回 ここまでのReviewおよびプレゼンテーション
第９回 第4回審議ー８対４
第10回 議論 4
第11回 Act 2　　第5回審議ー６対６
第12回 議論5　第6回審議ー３対９
第13回 最終審議ー０対１２～終了
第14回 総まとめ
第15回 期末試験
第16回 フィードバック

英語リーディング ER25(2)へ続く↓↓↓

英語リーディング ER25(2)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。
毎回授業開始時に行う予習確認のための小テスト（遅刻しないこと）２０％
プレゼンテーション　２０％
期末試験　６０％
ただし上記のパーセンテージは開講後変更する場合がある。

[教科書]

Reginald Rose 『Twelve Angry Men』（英宝社）ISBN:978-4-269-09030-9

[授業外学修（予習・復習）等]

綿密な予習をして授業に出席すること。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]